



「江戸しぐさ！」

校長 吉鶴 修

7月がスタートしましたが、梅雨明けはもう少し先のようにです。雨が降るのを見て、以前の6年生の道徳の副読本に「江戸しぐさ」が掲載されていたことを思い出しました。礼儀正しく真心をもって接することの大切さを考える教材として取り上げられています。

具体的には、「傘かしげ」や「肩引き」について簡単に説明があり、今の時代や自分たちの行動を振り返り、これからの自分の生き方を考えていく展開になっています。

わたくしも以前、越川禮子さんの「商人道『江戸しぐさ』の知恵袋」を読んだことがありましたので、道徳の教材として、是非、子どもたちに学んでほしいと思っていました。御存知の方もおられるかもしれませんが、「商人道『江戸しぐさ』の知恵袋」から一部、紹介させていただきます。

【傘かしげ】

雨や雪の日、道路ですれ違うとき、相手も自分も傘を外側に傾けて、一瞬、共有の空間をつくり、さっとすれ違う。お互いの体に雨や雪のしずくがかからないようにするとともに、ぶつかって傘を破らないようにする実利的な意味も含んでいた。

しかし、基本には相手を思いやる精神と、ゆずり合いの精神があってこそできること。これは、江戸っ子ならば子どものうちに「くせ」になってできていなければならなかった。



【肩引き】

狭い道路や路地、またはこみ合う道路で、前方から人が来たとき、お互いに右肩を引いて、体全体を斜めにし、胸と胸を合わせる格好ですれ違うしぐさ。心は「傘かしげ」と同じだ。右腕も自然に引く形になり、江戸っ子同士なら「いつくしみのまなざし」をかわしつつ、見知らぬ人へも敵意のないことを「肩引き」のしぐさで表現している。



「江戸しぐさ」の「しぐさ」に漢字をあてると、どのように書くでしょうか。『仕草』をイメージしておられる方が多いと思いますが、聞くところによると、『思草』だそうです。『思』は思案、思慮、施行を意味し、『草』は草花ではなく、行為、実行などの「行い」を意味します。ですから、単に振る舞い（仕草）ではなく、商人の中でもリーダー的な人たちが自ら率先して実践してきたもので、それをお店の従業員や家族、周辺の人たちが”いき（粋）な姿”だと感心して、広く浸透していくようになったそうです。

いつか機会があれば、このような話も子どもたちにできるとよいなと思っています。こんな粋な姿を本校の子どもたちにも期待しています。

7・8月の主な行事予定

7月1日(木) 水泳指導開始, 内科健診(下学年) 6日(火) 委員会 8日(木) 参観日, 4年環境学習
 9日(金) 参観日 13日(火) クラブ 15日(木) 集金日 19日(月) 学年・学級懇談会
 20日(火) 全校朝会 21日(水) 1~5年生夏季休業開始 21,26~29日 6年6時間授業
 30日(金) 6年夏季休業開始
 8月24日(火) 前期後半開始, 全校朝会 29日(日) 五十鈴川清掃 30日(火) 委員会

水泳がはじまりました！

7月1日（木）から水泳が始まりました。初日は5年2組、2日目は、1年生と3年1組でした。昨年度は水泳学習がなかったもので、2年ぶりの学校での水泳です。着替えの時には話をしないこと



や、水の中やプールサイドでもソーシャルディスタンスを取るなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行いました。制限がある中



での水泳学習ですが、水の中に入るのがやはり嬉しいようで、どの子どもも一生懸命活動する姿が見られました。これから、どの学年でも、安全管理をしっかりしながら水泳学習を進めていきます。

1・2年生書写～水筆～

2020年から、小学校1・2年生の書写の学習において「水筆」の使用が始まりました。これは、今回の学習指導要領改訂において、文字の形だけでなく「点画の書き方」注意しながら書くことが新しく明記されたためです。「点画の書き方」とは、文字を構成する点と画の始筆から送筆、終筆（とめ、はね、はらい）までの筆記具の運び方のことです。つまり、今までは、文字の形の指導が中心であった書写指導に対し、「運筆指導」、すなわち文字を書く過程にも重点を置くように改訂されたということです。この子どもたちの運筆能力の向上につながる用具として「水筆」が取り上げられ、これまで硬筆の授業のみであった小学校1・2年生の書写の授業に「水筆での毛筆の授業」が取り入れられることになったというわけです。水筆のメリットは、



- ・墨ではなく水を使うため、服や部屋を汚す心配がなく、準備・後片付けが簡単。
- ・毛筆で書くことにより硬筆では体感しにくい「とめ・はね・はらい」の感覚を理解し、硬筆においても意識することができるようになる。

が挙げられます。ここまで、堅苦しいことを書いていますが、子どもたちは、水に触れることやいつもと違う道具を使うことがとても好きですので、「水筆」を使用することを楽しみにしています。楽しみすぎて学習効果が薄れてはいけないので、「水筆」を使用するとき気を付けることなどを確認しながら学習を進めているところです。

タブレットの活用も少しずつ進めています



GIGA スクール構想の一人一台タブレットの使用も少しずつ進めています。高学年では、タブレットの操作に慣れるためプレゼンテーション作成、国語科や社会科などでの調べ学習、また、体育科で自分たちの動きの撮影、理科でのタブレットで顕微鏡で観察するものの撮影などの場面で活用を始めました。教室で、一人一人がタブレットを使用している姿を見ると、すごい時代になったなあと感じます。学習効果を高めるための道具の一つとして、効果的な活用を進めていきたいと思えます。